

国民の声が、「検察庁法改定案」止めた！

# 民主主義の底力で 改憲止めよう！



国民が声を上げ、政治を動かしました。民主主義破壊の「検察庁法改定案」の今国会成立を、民主主義の底力で断念させました。

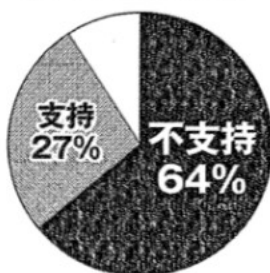
この法案は、政権の恣意的判断で、特定の検察幹部の定年延長を「特例」として可能にするものです。そもそも、首相であっても起訴できる権限をもつ「検察官」の人事に、内閣が介入するなど、検察の独立性・中立性を侵し、三権分立も法治主義も破壊するものです。「検察まで私物化するのか」と批判の声が上がりました。

さらに「コロナ対策に集中せずに検察人事か」と、国民の怒りが沸騰しました。緊急事態宣言の下、デモも困難な中、抗議のツイッターが瞬く間に広がり、著名人・芸能人らも賛同。元検事総長ら検察OBや弁護士会も声を上げました。野党4党(立憲民主・国民民主・日本共産・社民)と一党派は、国民世論と力を合わせて、反対の論陣を張りました。市民と野党の共同した運動が、安倍政権の暴走を止めたのです。

もともと、黒川弘務・東京高検検事長の定年延長を認めるために、これまでの法解釈を閣議決定で勝手に変更した安倍政権。それを後付けで合法化するための「検察庁法改定案」でしたが、黒川氏は「賭けマージャン」で辞職。立法事実もなくなった今、閣議決定も「検察官定年延長の「特例」も撤回すべきです。

「桜を見る会」、「政治とカネ」、「公文書かいざん」など、ウソと私物化の安倍政治は、もうゴメンです。内閣支持率急降下は当然です。ましてや、この機に乗じた「改憲」など許されません。

急降下する内閣支持率



毎日新聞・社会調査研究センター全国世論調査 (5月22日発表)

## 安倍政治を止めさせよう！

# 6月度「九の日宣伝」

## 日時 6月9日 (火) 午前7時

## 場所 近鉄五位堂駅北側

### 提唱 香芝九条の会

香芝法律事務所気付 連絡 090-1220-7112